

夏季教研！！

一学期も終わりに近づいてきた6月23日（土）～6月24日（日）に大私教主催夏季教研が行われました。全体講演は福岡県で不登校生徒の自立を支援する高校「立花高等学校」の校長をしておられる齋藤真人さんのお話でした。「学校が変わるとき～子どもたちを社会の光に～」をテーマに、「一人の子を大切に作る」ためにはどうすればいいのか、立花高校ではそのために何をしているのかなどとてもためになるお話が多く、感動のあまり涙を流しておられる先生方も多く見受けられました。その後全体会の話を聴いて大阪では現在どのような取り組みをしているのかを大阪の先生方で交流し、全体会は幕を閉じました。

夕食の後は「夜のつどい」。青年部は毎年ここで分科会を出しています。今回は24名の参加がありました。そのなかで今年は二本のレポート報告を聴きました。一本目は通信制の高校の担任・副担任の先生による「担任と副担任の繋がり」というレポートでした。担任と副担任が協力して学級経営をおこない、学級通信も担任だけでなく副担任が書くことで生徒に副担任の存在を入れ込んでいくといった実践はとても新鮮で、先生方から多くの質問が出ました。副担任の先生の居場所を教室に作るということはとてもすごいことだなと感じました。まだ3か月しか経っていないにもかかわらず、副担任の先生が「僕が一番恵まれていたのは担任の先生が今の担任の先生だったこと」と言っていたことが一番印象的でした。

二本目は箕面学園高校の西尾先生の「初担任～卒業」というレポートでした。素直に、そして正直に書いている報告は出会い、学ぶことによって少しずつ成長しているのがよくわかったレポートでした。そして両方の報告に対して議論し、助言者を置いていることもこの分科会の特徴です。報告をするだけでなく、みんなで青年教員の実践に光をあてる。そんな分科会だったような気がします。

そのあとは夜の交流会！普段会えない先生と語り合い、時には涙を流しながら色々な話をすることができました。やはり、様々な先生と出会い、ともに悩みなどを共有することが非常に大切だと痛感しました。

2日目のクラス行事づくりでは、交流会の疲れが残るなか中堅からベテランに差し掛かる経験豊富な2本のレポートを聴きました。



一本目は英真学園高校の小林先生の「忘れられない学園祭づくり～ゲルニカ作成～」というレポートでした。良い学園祭にしたい!!でも生徒の要求も大切にしたい!!そんな想いをすり合わせ、行事づくりは日々のクラスづくりから…その信念を丁寧に生徒に伝え、時には大胆に行動する。そんな小林先生の想いや経験に裏打ちされた行動がよく伝わる報告でした。

二本目は大阪暁光高校の笹渕先生の「子どもたちに支えられた15年間のクラスづくり～3年間の看護科における実践を中心に～」千代田から暁光を担任として生徒に寄り添い続けた笹渕先生。その中で生徒・同僚・先輩から学び続けた笹渕先生の報告は短い時間でやってもらうのはもったいないように思いました。そして、その集大成である看護科3年間の実践。1人も脱落することなく3年間を通して成長する生徒たち。笹渕先生の言葉にできないすごさがわかるレポートでした。そのあとの終わりのつどいでは、二日間にわたる教研の感想を述べ、夏の教研は盛況のうちに幕を閉じました。

5月18日 近況報告会

小雨が降る中行われた近況報告会。今年初めて行われた新たな取り組みでしたが、新しい先生も来ていただきました。まず始めは「最近嬉しかったこと」「最近悩んでいること」を交えた自己紹介。お互いの学校の実情や置かれている立場などを知る良いきっかけになったのではないのでしょうか。そのあとは新しく来てくださった先生を中心に据えながら新しい先生の悩みを聞き、ともに考える時間でした。このような時間をとることによって、多くの先生に寄り添うことができる青年部になるのかなと感じました。

そのあとは場所を移動し、お酒も交えながら交流会。夏季教研のところでも思いましたが、いろんな話を職場以外でもできる環境というのはとても大切です。このような場を今後もどんどん企画していきたいと思うので、こんなのしてほしい！というのがあれば、是非青年部までお寄せください。



昇陽高校学習会！

7月24日（火）15：00～淀之水分会（昇陽高校）でグループワーク企画が行われます！今回のテーマは「ロ～ングホ～ムル～ム」。他の学校の先生がどんなHRをしているか聴いてみませんか？ふるってご参加下さい！

次回の青年部企画

次回は8月1日（水）17時～大阪暁光高校でPL花火&BBQ企画を行います！是非参加してください！

（問い合わせは箕面学園・西村まで n.s.k.a.k.mario@gmail.com）